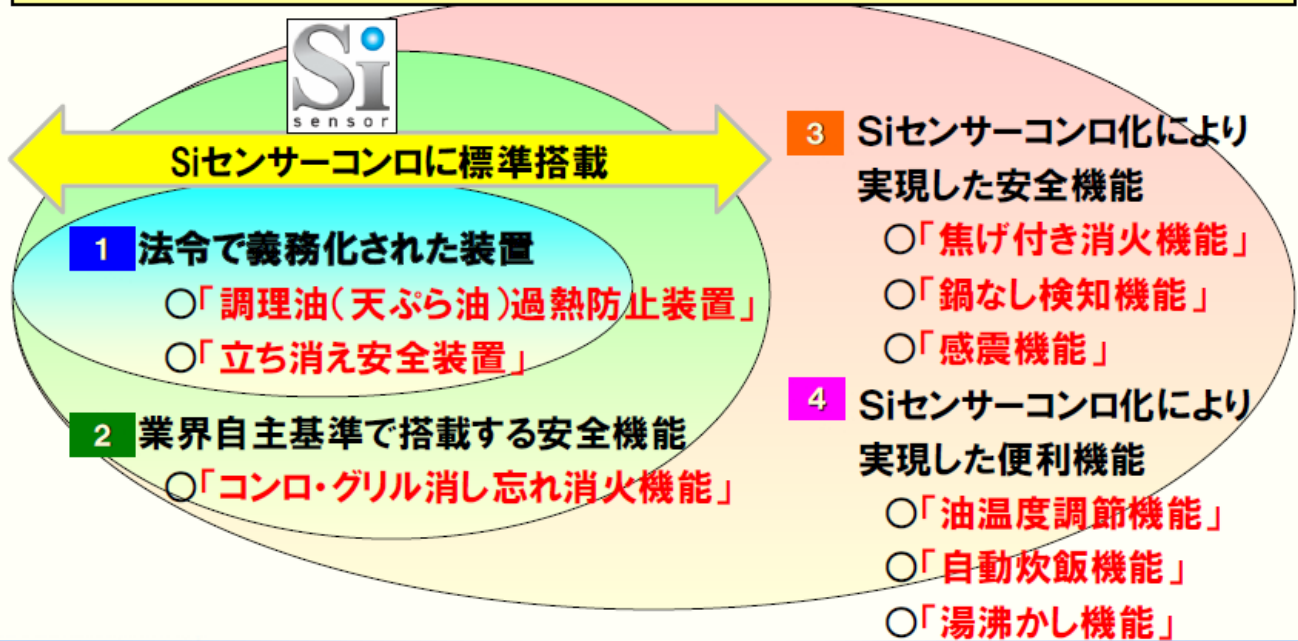


Siセンサーコンロで火災予防

令和元年中に全国で発生した火災の原因は、第1位「たばこ」、第2位「たき火」、**第3位「コンロ」**となっています。コンロの中でも**ガスコンロ**によるものが**約9割**であり、その安全性を高めるため、現在では**Siセンサー**という**自動消火機能**などの**安全装置**付きの製品が**標準**となっています。鹿追消防署では、**火災予防**の一環として入れ替えをお勧めしています。

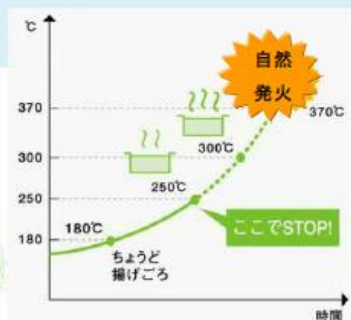
ガスコンロを原因とする火災撲滅のために、2008年4月以降の製造分について、**Siセンサーコンロの標準化**を宣言、2008年10月には**Siセンサーコンロが法制化**されました。



1 法令で設置が義務化された装置

調理油(天ぷら油)過熱防止装置

加熱中の天ぷら油は熱源に関係なく約370度で自然発火します。これを防止するため、油の温度が**約250度**になると、自動消火。



立ち消え安全装置

風や煮こぼれなどで火が消えてしまった時に、**ガスを自動閉止**。



2 業界自主基準で搭載する機能

コンロ・グリル消し忘れ消火機能

消し忘れによる火災を防止するため、**点火後一定時間経過後※自動消火**。



※コンロ…約1~2時間
グリル…約15分